

Pioneer

ドライブレコーダー

VREC-DZ500

VREC-DZ500-C

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>
[0120]で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。
携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》
【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)
【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600** (ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7540 (IP電話・有料)

■ファックス **0570-037-602** (ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.05

パイオニア株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

©パイオニア株式会社 2018
< KFWZ18F > < 1601007-0399-1 >

carrozzeria

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。		必ず行っていたく強制の内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。		

内蔵電池に関するご注意

危険

液体で濡らさない

組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

火の中への投入や火気に近づけたり、加熱したりしない

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

強い衝撃を加えない

変形、保護機構が破損する可能性があります、発熱、破裂、発火の原因となります。

指定以外の電池は使用しない

電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。

分解や改造をしない

電池パックを分解したり、改造しないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。

警告

電池の液漏れが発生した場合は皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。

接続・取り付け

警告

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてない

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

本機は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良や本機がはがれて、事故の原因となります。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品やmicroSDカードは、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合がありますため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となることがあります。

分岐配線をしてない
ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

強制

コードが金属部に触れないように配線する
金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

シガーライターのプラグを確実に挿入する
走行中の振動によって、接触不良を起こすことがあり、本体が過熱して非常に危険です。

シガーライターソケットは定期的に点検・清掃する
シガーライターソケットの中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により発熱し、火災・感電の原因となることがあります。

使用方法

警告

運転者は走行中に操作をしない
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない
ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない
発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

通気孔や端子部分などから本機内部に異物を入れない

金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

引火性ガス(プロパンガス、ガソリンなど)の発生するような場所では、電源を切り、使用しない

船舶、航空機、バイク、登山で使用しない

位置誤差が生じたり、電池がなくなったりして、事故の原因となります。また、塩害などにより発熱、破裂、発火の原因となります。

分解や改造をしない(廃棄時のリチウムイオン電池を取り出す分解は除く)
交通事故や火災、感電の原因となります。

風呂場、シャワー室や調理台、加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所で使用しない
火災、感電の原因となります。

強制
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

自動車の電源を使用するときは、専用のシガーライタープラグを使用する
専用のプラグ以外を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

使用後または長時間使用しない場合はシガープラグを抜く
車種によってエンジンも切ってもシガーソケット電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

注意

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

キャッシュカードやフロッピーディスクなどを本機に近づけない
磁気データが消去されることがあります。

本機をダッシュボードなど直射日光の当たる場所に放置しない
変形、電池の破裂、液もれの原因となることがあります。

シガーライターのプラグを濡らしたり汚したりしない

火災・感電の原因となることがあります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。

電源ON時はボリュームに注意する

電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

強制

温度の上昇に注意する
本機やシガーライタープラグは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

注意

異常時の問い合わせ

警告

強制
万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

修理について

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。
本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はおお客様ご負担となります。）

保証期間中の修理

について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。
本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

保証期間経過後の

修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着

(お取り外し・お取り付け) について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

補修性能部品の

最低保有期間

弊社は、本機の補修性能部品の、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本書の見かた

表記	意味
	取り扱いで注意していただきたいことや、本機の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
メモ	操作する上でのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
[○○]	画面に表示される選択項目を表します。
→ [○○○○]	参照していただきたい箇所や設定項目を表します。

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書では、microSDHC/SDXC メモリーカードを、便宜上「microSD カード」と表記しています。

使用上のご注意

⚠ 本機取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中に再生操作や設定操作などしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

- 弊社では、破損したファイルや消去したファイルの復元サービスは行っておりません。
- microSD カードの保存領域は、撮影種別によって下図のように四分されます。

	連続録画ファイル保存領域
	イベント録画ファイル保存領域
	駐車監視録画ファイル保存領域
	写真ファイル保存領域

- 各ファイル保存領域の空き容量が足りなくなると、上書き保存されますのでご注意ください。残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。

- 「ドライブレコーダーの使いかた」**「撮影ファイルのバックアップについて」**
- 動画ファイルはお手持ちのパソコンでも再生できます。ただし、パソコンの性能によっては、映像の再生がコマ落ちしたり止まったりすることがあります。

- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間を置いて熱が冷めてからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。

- 60℃以上の高温または-10℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機を使用しないでください。
- 本機で撮影した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。本機で撮影した映像には、車両ナンバーなどの個人情報が含まれる場合があります。

- カーナビゲーションなど GPS を使用する機器を本機の近くでお使いの場合、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなる場合があります。また、周辺機器の機能にも何らかの影響を及ぼす可能性があります。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。充電を繰り返すと、少しずつ使用時間が短くなります。使用時間が短いと感じた場合は、弊社修理窓口にご相談ください。

- 天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前方の状況を正しく認識できない場合があります。
- LED 式信号機や道路上の街灯などを撮影すると、信号機や街灯が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。また、色が識別できない場合があります。これらの場合については弊社は一切の責任を負いません。

- 本機は G センサー（加速度センサー）で衝撃（加速度）を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 購入直後など十分に充電されていない状態で、本機への電源供給が止まった場合（車のエンジンをオフ、シガーライター電源ケーブルを外す）、撮影時間が短くなったり、撮影できないことがあります。
- 充電時には必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

- 各ファイル保存領域の空き容量が足りなくなると、上書き保存されますのでご注意ください。

- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間を置いて熱が冷めてからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。

- 60℃以上の高温または-10℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機を使用しないでください。
- 本機で撮影した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。本機で撮影した映像には、車両ナンバーなどの個人情報が含まれる場合があります。

- LED 式信号機や道路上の街灯などを撮影すると、信号機や街灯が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。また、色が識別できない場合があります。これらの場合については弊社は一切の責任を負いません。

- 本機は G センサー（加速度センサー）で衝撃（加速度）を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 購入直後など十分に充電されていない状態で、本機への電源供給が止まった場合（車のエンジンをオフ、シガーライター電源ケーブルを外す）、撮影時間が短くなったり、撮影できないことがあります。
- 充電時には必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

⚠ microSD カードの取り扱いに関するご注意

- 本機は、microSDHC/SDXC カード（8 GB～64 GB、Class10）に対応しています。全ての microSDHC カードの動作を保証するものではありません。
- microSD カードはあらかじめフォーマットしてご使用ください。また、カード内にパソコンなどで他のデータを入れずにご使用ください。
- microSD カードへのアクセス中は、microSD カードを抜かないでください。ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。

- microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- microSD カードの寿命は保証対象外となります。
- microSD カードは消耗品です。定期的に新品への交換を推奨いたします。長期間使用すると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や、microSD カードがエラーになり使用できなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- お持ちのパソコンで認識している microSD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、microSD カードの不具合によっては、本機のフォーマット機能でフォーマットすることにより認識する場合があります→「システム設定」の「SD カードフォーマット」。ただし、フォーマットした場合は、microSD カードに記録された保護ファイルも含めた全てのファイルが消失します。フォーマットの際は、必ず microSD カードファイルのバックアップを作成してから行ってください。
- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により microSD カードのファイル消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用しているため、電波の干渉により無線機能の音声が届かなくなったり聞こえにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
- ・無線 LAN 機器を利用した AV 機器、防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声が届かなくなったり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声が届かなくなったり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
- ・火災報知器、ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・マイクロー波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・自動ドア、万引き防止システム（書店、CD ショップなど）
- ・アマチュア無線局（道路交通網システム）など

- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用しているため、電波の干渉により無線機能の音声が届かなくなったり聞こえにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
- ・無線 LAN 機器を利用した AV 機器、防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声が届かなくなったり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声が届かなくなったり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
- ・火災報知器、ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・マイクロー波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・自動ドア、万引き防止システム（書店、CD ショップなど）
- ・アマチュア無線局（道路交通網システム）など

- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により microSD カードのファイル消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

⚠ 電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく省電力データシステム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - ・分解 / 改造する。
 - ・本機に貼ってある証明シールをはがす。

- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用しているため、電波の干渉により無線機能の音声が届かなくなったり聞こえにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
- ・無線 LAN 機器を利用した AV 機器、防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声が届かなくなったり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声が届かなくなったり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
- ・火災報知器、ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・マイクロー波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・自動ドア、万引き防止システム（書店、CD ショップなど）
- ・アマチュア無線局（道路交通網システム）など

- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により microSD カードのファイル消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用しているため、電波の干渉により無線機能の音声が届かなくなったり聞こえにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
- ・無線 LAN 機器を利用した AV 機器、防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声が届かなくなったり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声が届かなくなったり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
- ・火災報知器、ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・マイクロー波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・自動ドア、万引き防止システム（書店、CD ショップなど）
- ・アマチュア無線局（道路交通網システム）など

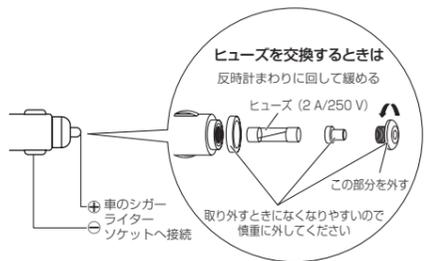
- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により microSD カードのファイル消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。



- ① 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。
- ③ 想定される与干渉距離(約40 m)を表します。

ヒューズを交換するときは

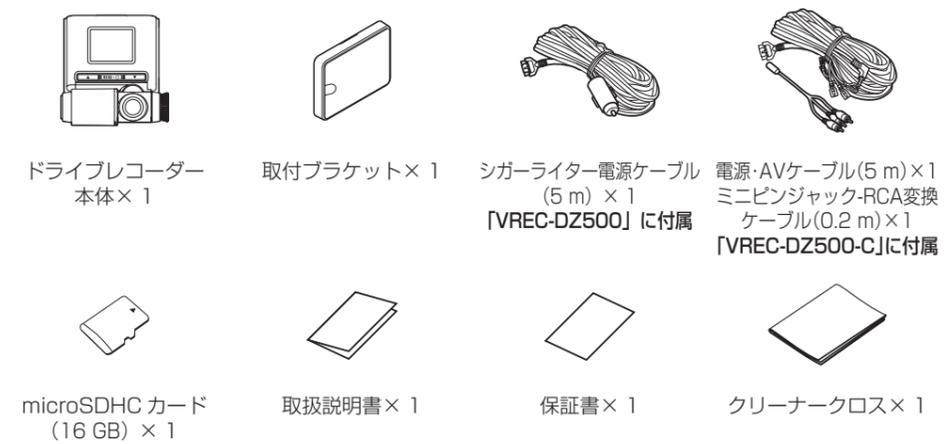
「VREC-DZ500」に付属のシガーライター電源ケーブルを接続しても、電源が入らないときや充電できない場合は、ヒューズ切れを確認してください。



メモ

- ヒューズが切れているときは、新しいミニ管ヒューズ（直径 5.2 mm / 長さ 20 mm）に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ（2 A / 250 V）と交換してください。

付属品を確認する



故障かな？と思ったら

修理に出す前に、下記内容をご確認ください。

症状	原因	対処
本機の表示や動作がおかしくなった。	本機のマイコンが誤動作を起こしている。	リセットボタンを押してください。
記録されているはずのファイルが見当たらない。	microSD カード内の保存領域が足りなくなった場合、ファイルは古いものから順に上書き保存されています。	残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。 →「 撮影したファイルのバックアップ 」
車に乗るときや降りるときに、勝手に駐車監視ファイルが作られる。	車に乗り降りする際の振動が検知されています。	検知するセンサーの感度を調整してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」 - 「 ■設定 」 - 「 駐車監視 」 - 「 振動検知感度 」
駐車中に録画されたファイルに、異常のない映像が多い。	振動検知の感度が適切では無い可能性があります。	
駐車中に車をぶつけられたのに動画ファイルが作られていない。	検知するセンサーの感度を調整してください。	→「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」 - 「 ■設定 」 - 「 連続録画 」 - 「 振動検知感度 」
運転中に事故にあったが動画ファイルが作られていない。	衝撃検知の感度が適切では無い可能性があります。	
動画ファイルを再生しても、音声	音声録音の設定が OFF の可能性があります。	音声録音の設定を再確認してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」 - 「 ■設定 」 - 「 システム 」 - 「 マイクミュート 」

取り付けの前に知ってほしいこと

警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず車両の備品および運転に支障のない場所に本機を取り付けてください。

取り付け上のご注意

- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けしてください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます。
- ドライブレコーダー本体は、ガラス取り付け専用です。ガラス以外や車室外には取り付けしないでください。
- フロントガラス取り付け時は、必ずフロントガラスの指定の位置・寸法内に取り付けしてください。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

- 車種によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- ドライブレコーダー本体を塞いだり、レンズを汚したりしないでください。
- レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ドライブレコーダー本体は、落としたり、レンズ部分には触れないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- 自動車のガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 自動車のガラスに特殊加工が施されている場合は、GPSが受信できない可能性があります。本機の画面に表示されるGPS受信状態表示をご確認の上、GPSが受信できない場合は取り付ける事ができません。→「ドライブレコーダーの使いかた」の「ステータス表示について」
- 作業場所は、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウィンドウを暖めておいてください。

両面テープは、一度貼り付けた後に剥がすと粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずドライブレコーダー本体を仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

両面テープを貼り付ける前に

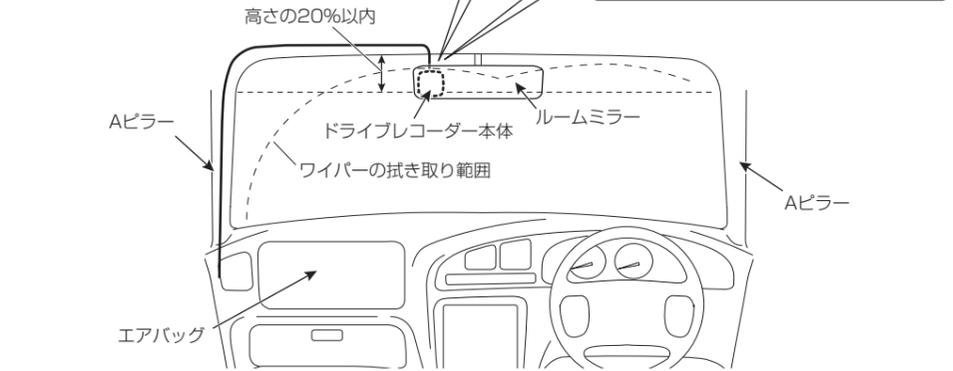
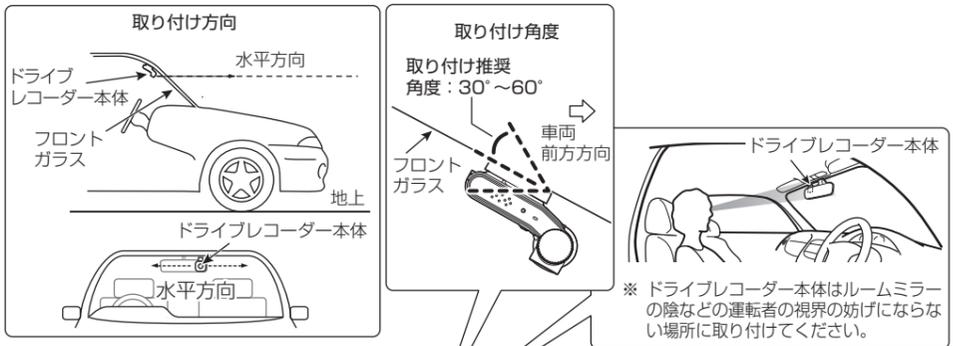
- 両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

取り付け

フロントガラス取り付け指定位置

ドライブレコーダー本体をフロントガラスに取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置に取り付けてください。

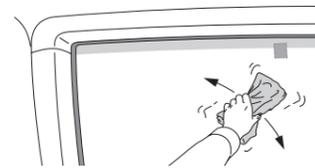
- ドライブレコーダー本体の全体がフロントガラスの高さの上縁から20%以内の位置(ウエザ・ストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の20%以内の範囲)あるいは、運転席から見てルームミラーの陰になる位置
- ドライブレコーダー本体のレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- ドライブレコーダー本体のレンズ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
- 車検ステッカーと重ならない位置
- ドライブレコーダー本体が前方および左右に対して水平方向を向く位置
- 電源ケーブルが無理なく引き回せる位置



必ずお守りください

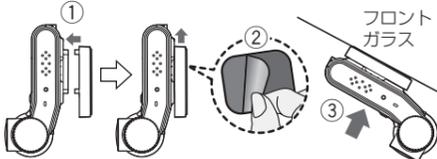
フロントガラスに取り付ける場合は、運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「フロントガラス取り付け指定位置」に取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

1 クリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます



2 ドライブレコーダー本体を取り付けます

- ①: 取付ブラケットをドライブレコーダー本体にセットします。
- ②: 取付ブラケットのシールをはがします。
- ③: フロントガラスの指定位置に取り付けます。



しっかりと押し付けてください。

液晶モニターをしっかりと押し付けてください。その後、ドライブレコーダー本体を取付ブラケットから取り外し、取付ブラケットを直接押し付けることで、しっかりと取り付けることができます。

液晶モニターの表面は絶対に押さないでください。

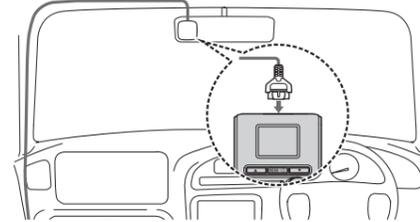
取付ブラケットの両面テープは非常に強い粘着力を持っており、一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。

はがれないようにしっかり取り付ける

正しく取り付けられていないと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

3 ケーブルを引き回します

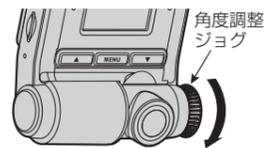
電源ケーブルを助手席側に引き回します。



お使いのタイプに応じて、電源の接続を行ってください。→「電源ケーブルの接続」

4 車のエンジンをかけて撮影画面を表示します

5 角度調整ジョグを回して、車外または車内の映像が適切に表示されるようにレンズの角度を調整します



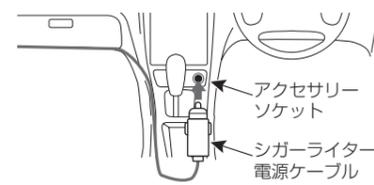
運転中はレンズを車外に向けてください。レンズの角度を車外から車内または車内から車外に動かすと、本機は再起動を行います。

電源ケーブルの接続

—電源・AVケーブルの接続は、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください—

シガーライター電源ケーブルの接続 < VREC-DZ500 >

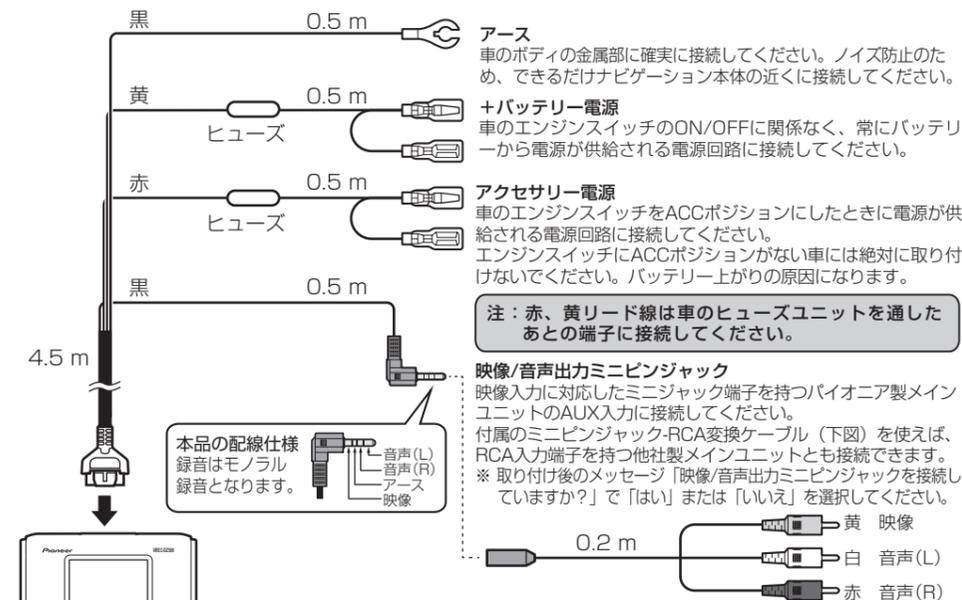
お車のアクセサリソケットに奥までしっかり押し込んで、確実に接続してください。(アクセサリソケットの位置はお車によって異なります。)



シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間を置いて熱が冷めてからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。

電源・AVケーブルの接続 < VREC-DZ500-C >

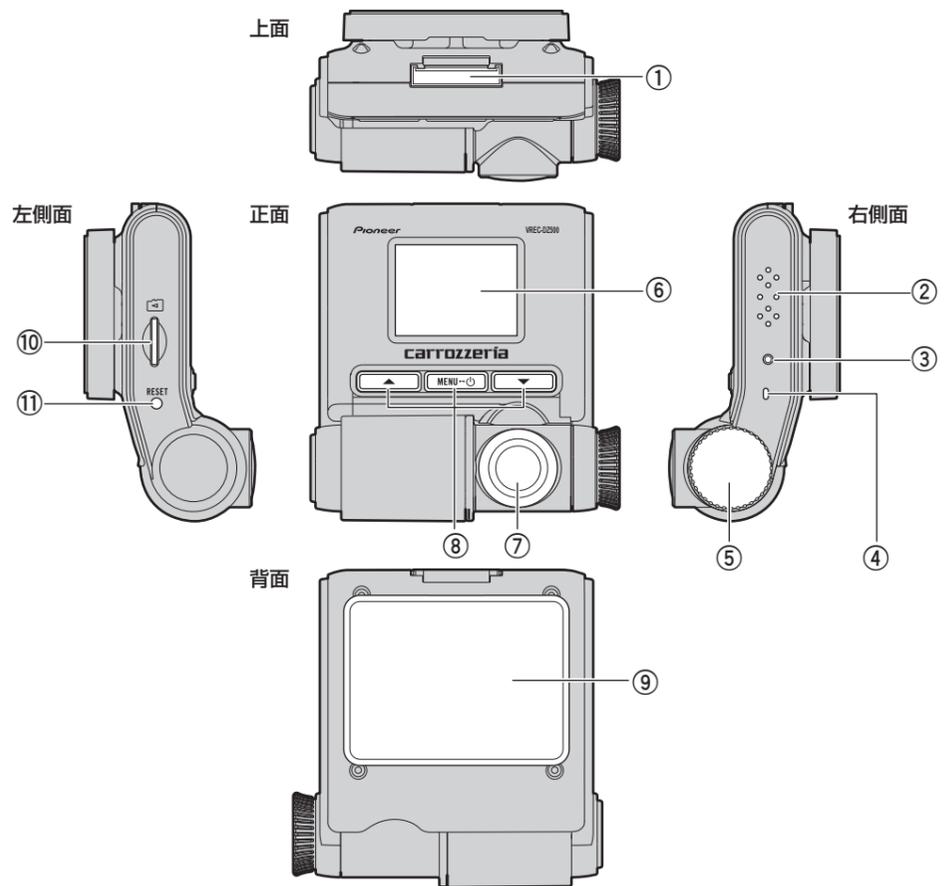
電源・AVケーブルを使用して車両から直接電源を取り出すことで、駐車監視機能(24時間365日監視可能なセキュリティモード)をお使いいただけます。また、ナビゲーションに接続し、本機のリアルタイム映像および再生中の動画と写真をナビゲーションの画面に映すこともできます。



接続上のご注意

製品の発煙・故障を防ぐために、本機の黒リード線(アース)を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。黒リード線(アース)は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

各部の名称



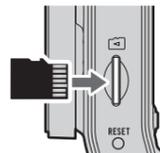
- ① 電源ポート
シガーライター電源ケーブルまたは電源・AVケーブルを接続します。
- ② スピーカー
- ③ システムインジケータ
- ④ マイク
- ⑤ 角度調整ジョグ
回して、レンズの角度を調整できます。
- ⑥ 液晶モニター
- ⑦ レンズ
- ⑧ ファンクションボタン
- ⑨ 取付ブラケット
- ⑩ microSD カードスロット
- ⑪ リセットボタン
ボールペンの先などで押すと、本機をリセットできます。

microSD カードの入れかた・取り出しかた

microSD カードを出し入れする際は、必ず本機の電源をオフにしてください。

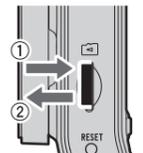
microSD カードを挿入する

microSD カードの端を持ち、ラベル面を本機の背面側に向けてゆっくりと「カチッ」と音がするまで microSD カードスロットに挿入します。



microSD カードを取り出す

microSD カードの上端をゆっくりと「カチッ」と音がするまで内側へ押し（①）、ロックを解除してから取り出します（②）。



撮影したファイルのバックアップ

各ファイル保存領域の空き容量が少ない場合は古いファイルから削除されます。残しておきたい大切なファイルがある場合は、次の方法でバックアップすることをお勧めします。

メモ

- 事前に予備の microSD カードを用意してください。

1 microSD カードを差し換えます

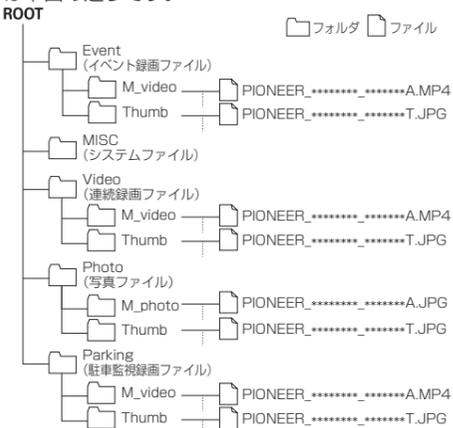
安全な場所に停車し、本機の電源を必ずオフしてから microSD カードを取り出して、予備の microSD カードと差し換えてください。

2 パソコンにファイルをコピーまたは移動します

必要に応じて SD カードアダプターを使用し、microSD カードをパソコンへ挿入します。バックアップしたい録画または写真ファイルをパソコン内の適切な場所へコピーまたは移動してください。

フォルダやファイルの構成について

microSD カード内のフォルダやファイルの構成は下図の通りです。



メモ

- ***** には、年月日_時分秒が自動的に付与されます。

ドライブレコーダーの使いかた

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機の電源について

本機は、車のエンジンをオン (ACC ON) にすると起動し、自動的に録画を開始します。(連続録画機能) → 「ドライブレコーダーの使いかた」の「連続録画機能について」

注意

- シガーライター電源ケーブルをお使いの場合、内蔵バッテリーが空もしくは充電不足の状態 (充電不十分、電気を使い切った、など) で、車のエンジンを始動すると、本機が起動しないことがあります。本機が起動しなかったときは、充電されている状態にして 3 分程度時間を置いてから、シガーライター電源ケーブルのプラグを車のシガー電源ソケットから「抜き / 差し」すると起動させることができます。

■ 手動で電源をオン / オフする

本機の電源を手動でオン / オフすることができます。

撮影画面でファンクションボタンの **MENU-ON** を 3 秒以上押しと電源オフ確認画面が表示されます。ファンクションボタンの **UP** / **DOWN** を押して [はい] を選び、**MENU-ON** を押しと電源がオフになります。もう一度ファンクションボタンの **MENU-ON** を 3 秒以上押しと電源がオンになります。

■ 充電時間の目安

残量がない電池の場合、約 3 時間です。

システムインジケータ表示について

本機の動作状態をシステムインジケータで表します。

システムインジケータ	メニュー表示中 / 再生中	録画中	異常録画状態	microSD カード未挿入
緑 点灯	○	—	—	—
緑 点滅	—	○	—	—
赤 点灯	—	—	○	—
赤 点滅	—	—	—	○

ファンクションボタンについて

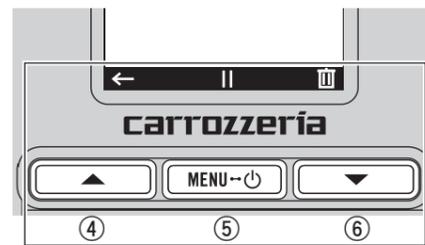
ファンクションボタンの機能は画面下部に表示されるアイコンで表示されます。各ボタンの機能は表示されている画面により異なります。(アイコンが表示されない画面もあります。) 再生画面や MENU 画面では、ファンクションボタンの **MENU-ON** を長く押しと一つ前の画面に戻ります。

■ 録画中



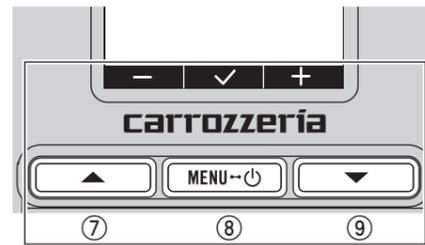
- ① 写真撮影
- ② メインメニュー表示
- ③ 手動イベント録画

■ 再生中



- ④ 戻る
- ⑤ 一時停止
(写真ファイルの再生時: 次のファイル)
- ⑥ 削除

■ 音量、感度の MENU 画面表示中



- ⑦ 音量や感度を低くする
- ⑧ 決定
- ⑨ 音量や感度を高くする

ステータス表示について

本機の動作状態を表示します。



- ① 録画中表示
- ② 撮影経過時間表示
- ③ イベント録画状態表示^{*1}
- ④ 駐車監視表示
- ⑤ 音声記録表示^{*2}
- ⑥ Wi-Fi 接続状態表示^{*3}
- ⑦ GPS 受信状態表示^{*4}
- ⑧ 電源状態表示
(: バッテリーモード : 充電中)

※ 1 イベント録画中に手動イベント録画を行うか振動を検知してイベント録画が作動した場合は「×2」と表示されます。
 ※ 2 オフに設定されていると赤い「\」が表示されます。
 ※ 3 接続中は緑色に表示され、接続していないときは白色で表示されます。オフに設定されていると赤い「×」が表示されます。
 ※ 4 受信中は緑色に表示され、受信できないときは白色で表示されます。駐車監視中は設定がオフになるため赤い「×」が表示されます。

ドライブレコーダーの使いかた

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

連続録画機能について

本機が起動すると自動的に録画を開始します。録画した映像は設定時間単位（工場出荷時は3分間）で1ファイルとしてmicroSDカードに保存され、microSDカードの容量が無くなると、古いファイルから上書きされます。

メモ

- 連続録画時間は変更することができます。→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」-「連続録画」-「録画ファイル時間」
- 下記の場合に連続録画を停止します。
 - MENU画面を表示している場合
 - 電源供給が停止された場合
 - 駐車監視機能が起動した場合

イベント録画機能について

● 衝撃を検知して自動で撮影（イベント録画）

他の車との接触事故が発生した場合など、本機が衝撃を検知した時点から前後各30秒間が自動的にイベント録画ファイルとして保存されます。

● 手動で撮影（手動イベント録画）

連続録画中にファンクションボタンの  を押すと、押した時点から前後各30秒間がイベント録画ファイルとして保存されます。

メモ

- 衝撃を検知する感度を調節できます。→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」-「連続録画」-「振動検知感度」
- イベント録画中に衝撃を検知したり、手動撮影の操作を行ったりした場合は、イベント録画終了後に再度イベント録画を開始します。

駐車監視機能について

本機への電源供給が止まる（車のエンジンをオフ、シガーライター電源ケーブルを外す）と、一定時間後に駐車監視機能が動作します。最大動作時間は約90分です。駐車監視機能動作中に振動による車の動きを本機が検知すると、検知した時点から前後各30秒間が駐車監視ファイルとして保存され、次回起動時にお知らせメッセージが表示されます。

メモ

- 駐車監視機能はオン/オフの設定ができます。また、駐車監視機能の動作時間を設定できます。→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」-「駐車監視」-「駐車監視時間」
- 振動を検知する感度を調節できます。→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」-「駐車監視」-「振動検知感度」
- 本機への電源供給が止まってから約3分間および電源供給を開始する前の約3分間に検知された振動については、お知らせメッセージ表示の対象外となります。

● セキュリティモードについて < VREC-DZ500-Cのみ >

セキュリティモードがONの場合は、設定した駐車監視時間が経過すると自動で24時間365日駐車監視を行うセキュリティモードが作動します。セキュリティモード作動中に振動による車の動きを本機が検知すると、検知した時点から後60秒間が駐車監視ファイルとして保存され、次回起動時にお知らせメッセージが表示されます。

メモ

- セキュリティモードはオン/オフの設定ができます。→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」-「駐車監視」-「セキュリティモード」
- セキュリティモード時は、低消費電力モードで動作するためバッテリー上がりの心配を軽減することができます。
- バッテリー電圧が11.2Vを下回った場合は、セキュリティモードの待機および録画を停止します。
- セキュリティモードは、振動検知後3秒以内に録画を開始します。
- 車のエンジンをオン（ACC ON）にする前の約3分間に検知された振動については、お知らせメッセージ表示の対象外となります。
- セキュリティモードは衝撃を検知してドライブレコーダー本体を起動し動作する機能のため、機械式の立体駐車場や振動の多い場所で使用するとバッテリーの減りが早まる可能性があります。そのような場所に駐車する際には設定をオフにしてご使用ください。

写真撮影機能について

連続録画中またはイベント録画中にファンクションボタンの  を押すと、写真が撮れます。

撮影したファイルを再生する

撮影した動画ファイルの再生や写真ファイルの表示ができます。

1 ファンクションボタンの を押してメインメニューを開きます

以降表示される各画面において、約30秒間何も操作が行われなかった場合は、自動的に録画中画面に戻ります。

2 ファンクションボタンの / を押して [ファイル] を選び、 を押します



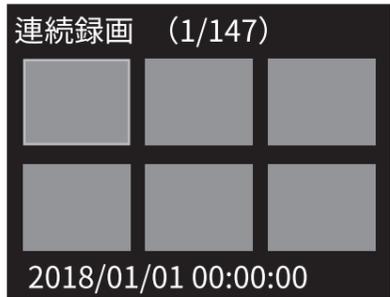
3 ファンクションボタンの / を押してフォルダを選び、 を押します



メモ

選んだフォルダ内のファイルをサムネイル表示します。

4 ファンクションボタンの / を押してファイルを選び、 を押します

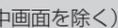


メモ

選んだファイルを再生します。



メモ

- 手順2～4の画面（再生中画面を除く）でファンクションボタンの  を長く押すと、直前の画面に戻ります。

ドライブレコーダーの設定

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機に関する設定が行えます。また、設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。この他、microSDカードのフォーマットや本機のバージョン情報を確認することもできます。MENU画面表示中は、連続録画機能が停止しますのでご注意ください。

1 ファンクションボタンの を押してメインメニューを開きます

以降表示される各画面において、約30秒間何も操作が行われなかった場合は、自動的に録画中画面に戻ります。

2 ファンクションボタンの / を押して [設定] または [Wi-Fi] を選び、 を押します

[設定] を選んだ場合を例に説明します。



3 ファンクションボタンの / を押して設定分類を選び、 を押します



4 ファンクションボタンの / を押して設定項目を選び、 を押します



5 ファンクションボタンの / を押して設定値を選び、 を押します



設定が完了し、前画面に戻ります。

メモ

- 手順2～4の画面でファンクションボタンの  を長く押すと、直前の画面に戻ります。

設定できる機能

設定分類	設定項目	設定内容	工場出荷時の設定値
連続録画	録画ファイル時間	連続録画機能の1ファイルあたりの録画時間を設定できます。	3分
	画質	動画撮影時の画質を設定できます。	1280x720p HDR*1
	WDR (Wide Dynamic Range)	明暗の差が大きい状況などで、自動で調整を行う機能の設定ができます。	ON
	露出補正	動画撮影時の露出を設定できます。	0
駐車監視	振動検知感度	振動や衝撃を検知する感度を設定できます。	レベル4
	駐車監視時間	駐車監視機能の動作時間を設定できます。OFFに設定することもできます。	90分
	振動検知感度	振動や衝撃を検知する感度を設定できます。	レベル4
	LEDインジケーター	駐車監視機能動作時にLEDインジケーターを点灯させる/させないを設定できます。	ON
システム	セキュリティモード*2	セキュリティモードを使う/使わないを設定できます。	ON
	GPS日時連動	自動で衛星と時刻の同期を行うか設定できます。	ON
	手動日時設定	時刻を手動で設定できます。	—
	システム音量	操作音および再生音量の設定ができます。OFFに設定することもできます。	レベル3
	マイクミュート	動画撮影中に本機周辺の音声も記録する/しないを設定できます。	OFF
	SDカード領域	SDカード領域を変更できます。	59% 10% 30% 1%
	操作音	操作音を鳴らす/鳴らさないを設定できます。	ON
	モニター表示設定	スリープに入る時間を設定できます。設定メニューを表示しているときは、本設定に関わらずスリープはしません。	3分後 OFF
	映像 / 音声出力の接続*2	映像 / 音声出力接続のON/OFFを設定できます。ON時はBEEP音のみ本機から出力されます。	OFF
	言語選択	画面に表示する言語を設定できます。	日本語
SDカードフォーマット	microSDカード内のすべてのファイルを削除できます。	—	
工場出荷状態に戻す	設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。	—	
バージョン	本機のファームウェアのバージョン情報を確認できます。	—	

*1 「HDR」とは、逆光やトンネルなどから出る際の強い光の影響を受けにくい機能です。

*2 「VREC-DZ500-C」の場合のみ利用可能な機能です。

Wi-Fi

設定分類	設定項目	設定内容	工場出荷時の設定値
—	—	本機とWi-Fiテザリング対応端末を接続するかどうか設定できます。	ON (接続可)

録画時間および枚数の目安

「SDカード領域」の設定で microSD カードに保存される各動画の録画時間および写真枚数の目安です。「SDカード領域」の設定は以下のように表しています。
例：[79% 10% 10% 1%]
メモリーカード容量に対し、連続録画時間が 79%、イベント録画時間が 10%、駐車監視録画時間が 10%、写真枚数が 1% となります。

16 GB の場合の録画時間および写真枚数の目安

SDカード領域	解像度	連続録画	イベント録画	駐車監視録画	写真枚数
[59% 10% 30% 1%]	960p	約 1 時間 12 分	約 14 分	約 52 分	約 400 枚
	720p	約 1 時間 50 分	約 20 分	約 1 時間	約 400 枚
[79% 10% 10% 1%]	960p	約 1 時間 50 分	約 14 分	約 14 分	約 400 枚
	720p	約 2 時間 30 分	約 20 分	約 20 分	約 400 枚

32 GB の場合の録画時間および写真枚数の目安

SDカード領域	解像度	連続録画	イベント録画	駐車監視録画	写真枚数
[59% 10% 30% 1%]	960p	約 2 時間 24 分	約 28 分	約 1 時間 44 分	約 400 枚
	720p	約 3 時間 40 分	約 40 分	約 2 時間	約 400 枚
[79% 10% 10% 1%]	960p	約 3 時間 40 分	約 28 分	約 28 分	約 400 枚
	720p	約 5 時間	約 40 分	約 40 分	約 400 枚

満充電時の動作時間の目安

駐車監視機能動作時間：約 90 分

メモ

- 録画時間は目安です。録画する風景等で異なります。

GPS について

- GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。
- GPS 衛星信号は、固体物質（ガラスを除く）を通過することができません。次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないことがあります。
トンネルの中やビルの駐車場、2 層構造の高速道路の下、高層ビルの群集地帯、密集した樹木の間

商標・著作権など

- microSDHC、microSDXC ロゴは SD-3C、LLC の商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは、Wi-Fi Alliance® の認証マークです。



- iPhone は Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

- Android は Google Inc. の商標です。

専用アプリについて

専用アプリ「ドライブレコーダーインターフェース」を使って、iPhone/スマートフォン（Android™）と本機を Wi-Fi 接続することができます。

- ドライブレコーダーと同時に接続できる iPhone/スマートフォン（Android™）は 1 台のみとなります。2 台目を接続した場合は、1 台目の端末との接続が切断します。
- Wi-Fi 接続中は本機から操作することができません。Wi-Fi 接続中にファンクションボタンを操作すると、Wi-Fi 接続を切断するかメッセージが表示されます。[はい] を選択すると Wi-Fi 接続が切断され、本機での操作が可能になります。
- 専用アプリ「ドライブレコーダーインターフェース」側の操作で、本機の SSID 名称（アクセスポイント名称）を変更することができます。ただし、SD カードをフォーマットした場合、SSID 名称は工場出荷時の状態に戻ります。
- 専用アプリ「ドライブレコーダーインターフェース」について、詳しくは弊社ホームページ「お客様サポート」（<http://pioneer.jp/support/>）をご覧ください。

仕様

記録媒体	microSDXC カード class10 (16 GB ~ 128 GB)
撮像素子	約 130 万画素 (車載用高感度 CMOS センサー)
記録画角	水平 109° 垂直 79° 対角 144°
F 値	2.0
録画モード	1 280 × 720P HDR / 1 280 × 720P / 1 280 × 960P
画像補正技術	HDR 機能、WDR 機能
GPS	搭載
Wi-Fi	搭載 (iOS / Android 専用アプリ接続用) 802.11b/g/n
G センサー	3 軸 G センサー (イベント録画時：6 段階レベル設定可能 駐車時：6 段階のレベル設定可能)
記録方式	連続録画 / イベント録画 / 手動イベント録画 / 駐車監視録画
録画ファイル構成	1 分 / 3 分 / 5 分
ディスプレイ	1.5 インチ 液晶
音声録音	ON/OFF 可能
フレームレート	27.5 fps
画像圧縮方式	動画 MP4 (H.264)、写真 JPG
記録映像再生方法	iOS / Android 専用アプリなど
電源電圧	12 V / 24 V (専用シガーライター電源ケーブル / 電源・AV ケーブル付属)
内蔵バッテリー容量	750 mAh
消費電力	約 220 mA (充電時：約 500 mA)
動作温度	-10 °C ~ +60 °C
外形寸法	75.8 mm × 77.8 mm × 42.5 mm (幅 × 高さ × 奥行)
本体重量	104 g (ブラケット、シガーケーブルなどを除く)
取付推奨角度	30° ~ 60°

充電式電池リサイクルご協力をお願い

本製品には、リサイクル可能なリチウムイオン蓄電池が内蔵されています。本製品を廃棄する際は、下記の手順でリチウムイオン蓄電池を取り出してください。

注意

- 本説明は、製品廃棄時に内蔵電池を取り出すことを目的としています。お客様が製品を開けた時点で、本機の保証は無効となります。
- ショート防止のため、電池を取り出す前に内蔵電池は十分使い切ってください。電源が入らなくなった時点でも残量が少し残っております。そのまま数日間放置してから電池を取り出すことをお奨めします。
- 不要になったリチウムイオン蓄電池は、下記の注意事項を守ってリサイクル協力店の充電式電池リサイクル BOX に入れてください。
 - 電池のビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
 - 電池のコードやコネクターは切断しないでください。
 - 電池を分解しないでください。
 - 電池の金属端子が露出した場合は、ビニールテープなどを貼って絶縁してください。
- 協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ (<http://www.jbrc.com>) をご覧ください。
- microSD カードは、あらかじめ取り外しておいてください。
- ケースの分解時にケガをしないよう、十分注意して作業してください。



1 本体背面の 4 本のネジを外します



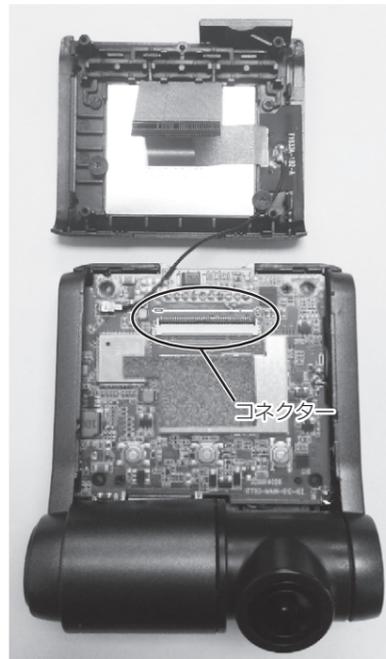
メモ

- ネジは、市販の 0 番の ⊕ ドライバーで外します。

2 角度調整ジョグの化粧シールを剥がし、2 本のネジを外して角度調整ジョグを取り外します



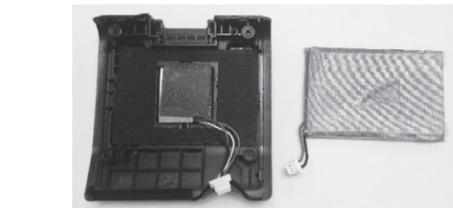
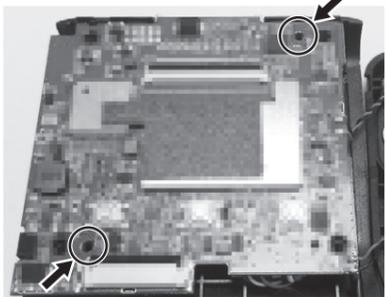
3 本体前面を外して、ディスプレイ側のコネクターを抜きます



4 両側のパネルを取り外します



5 基板上の 2 本のネジを外して基板を取り出し、2 つのコネクターを抜いて電池を取り外します



メモ

- 電池は両面テープで貼り付いています。外しにくい場合は、⊖ ドライバーなどを間に挿入して、取り外します。その際、電池にキズを付けないようご注意ください。